

-(으)ㄴ지어다

～すべきである（訓戒）

訓戒や命令を古文調で述べます。聖書や格言、古典に現れる形です。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄴ지어다	가다 → 갈지어다
パッチムあり	-을지어다	명심하다 → 명심할지어다
ㄹ 語幹	-ㄴ지어다	살다 → 살지어다
文体	古文・訓戒	聖書・格言
近い形	-아/어야 한다	現代語
続けて書く	지어다 は語尾	갈지어다

■ 使い方と注意

訓戒を述べます。그대들은 이를 명심할지어다（汝らはこれを心に刻むべきである）。

古文調の命令です。上位者が下位者に、あるいは神が人に語るような格式で使われます。日本語の「～すべし」「～せよ」に近い響きです。

聖書や格言で見かけます。네 이웃을 사랑할지어다（汝の隣人を愛すべし）のような文体です。

現代語では -아/어야 한다が対応します。日常や現代の文章ではまず使いません。

■ 例文

- 1 후손들은 이 일을 길이 기억할지어다.
後世の人々は、この出来事を長く記憶すべし。
- 2 뜻을 세웠거든 흔들리지 말지어다.
志を立てたなら、揺らぐことなかれ。
- 3 약한 자를 업신여기지 말지어다.
弱き者を侮ることなかれ。
- 4 이 땅에 평화가 있을지어다.
この地に平和があらんことを。
- 5 손수 만들지어다, 그리하면 그 값을 알리라.
手ずから作るべし、さすればその価値を知るであろう。
- 6 무릇 배우는 자는 스스로를 낮출지어다.
およそ学ぶ者は、自らを低くすべし。

■ 紛らわしいもの

-아/어야 한다
「しなければならぬ」で現代語です。지어다 は古文の訓戒です。
명심해야 한다（現代） / 명심할지어다（古文）

-(으)라
한다体の命令です。지어다 はより荘重で訓戒的です。
명심하라（命令） / 명심할지어다（訓戒）

-(으)ㅂ시다
勧誘です。지어다 は上から下への訓戒なので方向が違います。
명심합시다（勧誘）

■ まちがえやすい点

- X 갈 지어다
○ 갈지어다
語尾なので続けて書きます。
- X 친구야, 명심할지어다.
○ 친구야, 꼭 기억해.
日常会話では使いません。
- X 좋을지어다
○ 動詞につけます
訓戒は行為に対して述べます。